



学校だより

阿見No. 1

あみいち!

令和5年5月23日(火)

2023年度 第2号

阿見町立阿見第一小学校

(文責 宮崎 淳司)

子供たちが大人になる頃には・・・

- 学校現場でのチャットGPTの取り扱いについて、文部科学省がその方針を検討するというニュースがありました。子供たちが作文をAIに書かせることを大人たちが心配するような世の中になるとは、たった3年前にですら思ってもいませんでした。
- 文部科学省は、8年後の2030年には、少子高齢化・グローバル化・情報化が進み将来の変化を予測することが困難な時代となっており、その時代を生きる現在の子供たちのために学校教育は準備する必要があると、述べています。
- 例えば、すでにキャッシュレス自動精算機を導入した無人のコンビニがあるように、10年～20年後には、半数近くの仕事が自動化されるだろうと予測している学者もいます。レジの仕事がなくなってしまうかもしれません。子供たちの65%は将来、今は存在していない職業に就くだろうと予測している学者もいます。将来、存在していない仕事をするために、今の子供たちに、大人になるまでにどのような力を付けてあげればよいのだろうか、考えなければなりません。
- そこで、子供には「変化に向き合い、他者と協働して課題を解決していく力」「学びで得た知見や経験から新たな価値を創造する力」「多様な変化に柔軟に対応できる力」を育成する必要があるといわれています。(小学校だけで完結するものではない。)

阿見一小が目指すもの

- 今年度の組織目標として「『わかった』『できた』を実感できる授業づくり」と「認め合い 支え合い 高め合う学級づくり」を掲げました。
- 小学生なので、学習面では、まずは基礎学力を大切にします。そのためには、子供たちが夢中になって学習課題と向き合い、「わかった」「できた」経験により次の学習への動機付けとします。ただ、自分で考えたことが正しいのか、他の考えもないか、もっと深く考えられないか、などを踏まえてグループで話し合うことで、「他者と協働して課題を解決していく力」を育てていきます。
- 協働した話し合いのためには、互いに「認め合い 支え合い 高め合う」風土が必要です。学級を始め、学校生活全体を通して、培っていきます。

御家庭にお願いしたいこと

- 現代の授業は、昔のように、「教師が出した課題を解いて答え合わせをして練習問題を解く。」という一人で完結できる学習ばかりではなく、グループやペアで「協働」する場面が増えていきます。そのため、子供たちには、万全のコンディションで学習をさせたいと思います。
- そこで、御家庭においては、お子様に十分な睡眠をとらせてください。諸説あるかと思いますが、脳は18歳前後まで発達し続けると、医学的にいわれています。脳の発達には、セロトニンという物質が必要であり、それは眠っている間に分泌します。そのため、小学生段階では10時間程度の睡眠が推奨されています。また、睡眠不足によって脳のバランスがくずれ、発達障害もとき(落ち着きがない・集団行動がとれない・ミスや忘れ物が多いなど)となるケースも指摘されています。つまり、脳の発達や休息のために、十分な睡眠を取り、生活のリズムを整えるようお願いいたします。